

取引先とともに



THKは最適地生産、またお客様の要求を満たすための業務処理や技術力向上に向けた以下の方針の下、日々の業務を行っています。

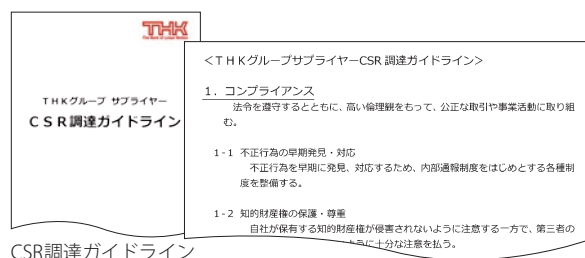
方針

1. グローバル調達 *最適地調達の推進
2. 発注業務スピードアップ *AIを利用した購買システムの開発
3. 提案の活性化 *取引先とのコミュニケーションを倍増させてVA提案・生産改革を活性化し推進する

一方、サプライチェーンにおいて持続可能な社会の実現に向け、設計から販売まで社会規範の遵守や環境への配慮を図っています。なおCSR活動を推進するためにサプライチェーン全体での取り組みが不可欠であるとの考えに基づき、仕入先に「CSR調達ガイドライン」を配布しCSR活動への積極的な取り組みをお願いしています。

なおTHK資材部では2017年2月に下請法の遵守を目的に、5工場資材課責任者に対する講習会を

本社で実施しました。各工場では順次個別の勉強会を開き、担当者への周知徹底を図りました。



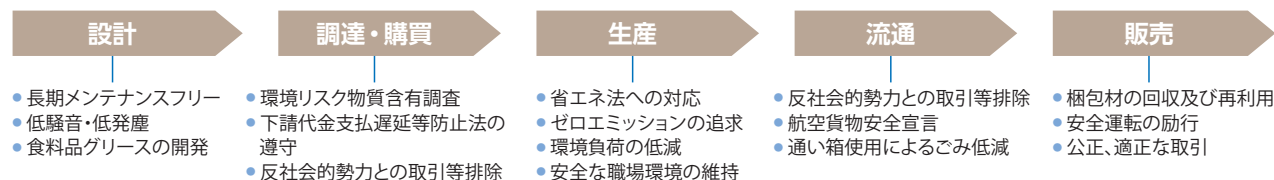
THK購買基本方針

お客様に満足して頂けるTHK製品を供給し続ける為に、取引先と共存共栄を目指した健全で良好なパートナーシップを構築する。

活動項目

- 1 取引先とのコミュニケーションを重視した購買の実践/QCDESを総合的に考慮して、評価・選定を行う
- 2 関連法令及び社会規範を遵守した公正かつ公平な取引の実施
- 3 原価低減の為にコストダウン推進/各種プロジェクト及びVA提案等への積極的参画を促す
- 4 グローバル調達の推進
- 5 BCP(事業継続計画)の実践
- 6 グリーン調達による環境への配慮

THKのサプライチェーン項目



取引先との改善取り組み

LMブロックの穴明け加工をお願いしている株式会社カオル製作所様と作業工程の見直しを行い、生産量の増加が図れました。カオル製作所の寺本工場長様からは、「THKは加工の最新技術とノウハウの広さを持っている。今回の提案は当社からみれば常識外れのものであったが、改善提案が

なければ従来通りの加工を継続していた。改善後の加工スピードの速さには驚いている。特に若い労働者確保が難しくなっている中での提案であり、大変有難い。今後もTHKと共同で作業の改善を図っていきたい」とのコメントをいただきました。

株主とともに



社会との関わり

IR活動

THKでは、公正・公平・迅速かつ、正確でわかりやすい開示を心がけてIR活動に取り組んでいます。決算説明会や個別取材等のIRイベントの質の向上に加え、IRサイトやアニュアルレポート等のIRツールにおける開示情報の充実にあります。

IRイベント

決算説明会

決算説明会では、社長自らが業績ならびに戦略を説明する他、質疑応答の時間を十分に設け、経営に対する忌憚のないご意見をお聞きしています。

説明会の模様はWebサイトのIR情報ページ上で日本語、英語の2カ国語で掲載しています。



決算説明会動画



IR情報

各種ミーティング

スモールミーティングや個別取材等を通じ、より多くの投資家との対話に努めています。また、海外の機関投資家に対しても、電話会議による取材をはじめ、アメリカ・ヨーロッパの投資家を毎年定期的に訪問する等、国内外を問わずコミュニケーション機会の充実を図っています。

株主総会

「開かれた総会」をコンセプトに

より多くの株主の皆様にご出席いただけるよう、1998年から株主総会集中時期を避けた土曜日に開催しています。加えて、取引先をはじめとするステークホルダーの皆様にも当社の経営をご理解いただくため、会場には見学席を設けており、より多くの方々にご参加いただいています。さらに、株主総会終了後には、日ごろ接する機会の少ない当社製品をより身近に感じていただくため、併催展示会を開催しています。

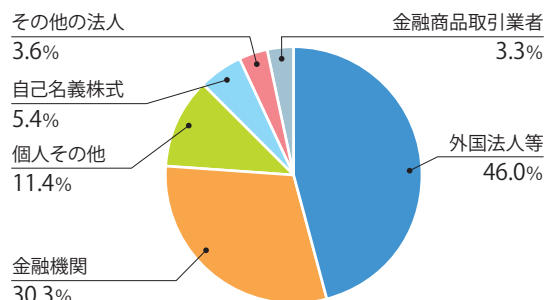
第48期定時株主総会

2018年3月17日に開催しました第48期定時株主総会では、約450名の株主の皆様にご出席いただきました。併催展示会では、工作機械や産業用ロボット等、ものづくりに不可欠な産業用機械をはじめ、新規分野として開拓を進めている免震装置、輸送機器、ロボット、再生可能エネルギー関連等の使用例や、IoTを活用した新たな取り組みをご紹介します。



第48期定時株主総会

所有者別株式分布状況(2017年12月31日現在)



品質保証

THKは、国内外の各生産拠点において品質マネジメントシステムであるISO9001を取得しています。また自動車産業、航空宇宙産業等、それぞれの産業に適応する各種品質セクター規格を認証取得し、品質保証体制を構築しています。

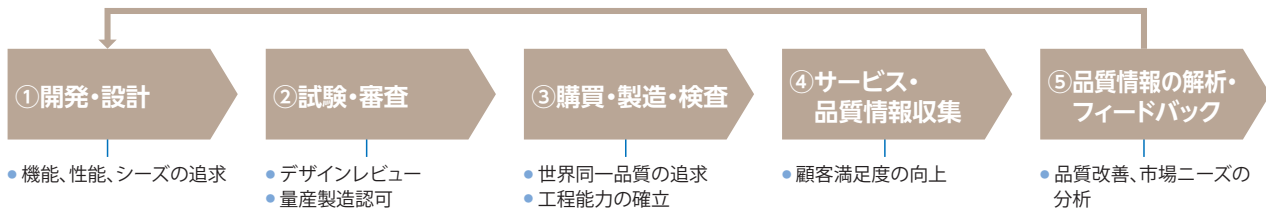
さらに、グローバルで品質情報を共有できる体制を構築し、世界各地のお客様から届けられる声を収集・解析し、迅速かつ適切なサービスをご提供するとともに、市場ニーズに応えられる製品の開発、品質改善に取り組んでいます。

THKは、すべてのお客様に満足していただけるよう、日々、製品品質の維持・向上に取り組み、安全・安心な製品を世界同一品質でお届けします。

品質マネジメントシステム認証取得状況 (拠点数)

	ISO9001	JIS Q 9100 航空宇宙産業用	ISO/TS16949 自動車産業用	IATF16949
日本	11	1	1	—
海外	13	—	7	6
合計	24	1	8	6

品質マネジメントプロセス



THK

生産品目

LMガイド、ボールねじ、クロスローラーリング、電動アクチュエータ、免震システム、SEED Solutions/他

方針

品質保証活動を通じ、常にお客様の信頼と満足が得られる製品を供給する。

THKは、鉄鋼、樹脂、油脂等の成分分析や、さらには微細異物の分析を可能とする各種高度分析装置を導入し、素材レベルでの品質管理を行っています。

また、自社開発したさまざまな試験装置を活用し、製品の性能評価を行い、万全の体制で品質保証を行っています。



THKインテックス

生産品目

精密ステージ、工作機械、ロボット、産業機械他

方針

熱意と独自のノウハウで、お客様と一緒に生産工程のさまざまな課題(自動化、合理化等)の解決に挑戦し、お応えする。そして、10年、20年、30年成長し続けられる、強い会社を目指す。

THKインテックスは、「極めようものづくり」をスローガンに高度技能の自動化を進めています。

また、製品品質の向上と安定に向けた活動を繰り返し行い、独創的かつ魅力的な製品供給体制を日々推し進めています。





THK新潟

生産品目 ボールスプライン、ローラーสプライン

方針

品質保証体制を確立し、QDCの継続的な改善活動を通じて、常にお客様に満足して頂ける製品を提供する。

THK新潟は、生産品目であるボールスプラインに更に磨きをかけ、最高品質の製品をお届けすることで社会の発展に貢献していきます。

また、航空宇宙品質マネジメントシステムJIS Q 9100の2016版移行に伴う、認証取得に向けて活動しています。

さらに、製品を通じて人や企業が成長し、より幸福になるよう3つの行動指針「顧客第一」「一致協働」「自己責任」の実現を図っていきます。



THKリズム

生産品目 自動車部品用リンケージ&サスペンション

方針

重要保安部品の品質保証で確立した品質マネジメントシステムを通して、お客様に満足して頂ける製品を供給するとともに、品質マネジメントシステムの有効性の継続的改善を進める。

THKリズムは重要保安部品を主体に生産しており、経営ビジョンに掲げるゼロ保証(未然防止活動を通し、不具合をゼロにする)達成を目標にお客様の要求を満たす製品をお届けしています。

また、自動車産業界の品質マネジメントシステムISO/TS16949のIATF16949移行に伴う認証取得に向け活動しています。



日本スライド工業

生産品目 スライドレール、スライドパック

方針

お客様が感動するQ(品質)、C(コスト)、D(納期)、S(サービス)、T(技術)を第一に考え、創意工夫とスピードを持って仕事を進めます。

日本スライド工業は、製品品質の向上と厳格な品質管理体制を構築し、お客様にご満足いただけるものづくりを推し進め社会の発展に貢献していきます。



安全・衛生

マネジメント体制

方針 労働災害0件、疾病0件で快適な職場作り

THK5工場は2010年に労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS*18001)認証を取得しました。2017年度は下記方針の下、各目標の達成に向け、活動を行いました。THKは残業時間管理を徹底しており、45時間/月を超えそうな従業員には事前に本人および上長にアラートメールを送っています。なお、何らかの理由で100時間/月を超えた従業員は産業医による面談も実施しています。

目標	活動内容
労働安全衛生マネジメントシステムを全員に浸透させる	リスクアセスメントの実施と職場安全教育推進
	関係法規の整理と周知(化学物質のリスクアセスメント)
	内部監査の準備と実施(相互監査)
	マネジメントレビューの実施
安全衛生委員会の活動を活性化させる	防災対策の推進
	交通安全活動の推進(交通災害:0件目標)
	職場内安全パトロールの実施/5S(6S)活動の推進
労働災害の撲滅	無災害記録310万時間の達成(第一種無災害記録)
	労働災害の発生を防止する(労災:0件)
	ヒヤリハット活動を推進する(製造:月1件/G毎、間接:月1件/課毎)
	構内協力企業・外来者への指導を推進する
健康管理の充実	定期・特殊健康診断の実施
	メンタルヘルスの推進/ストレスチェックの実施
	疾病の予防活動推進
	産業医の指導に基づく改善活動

*OHSAS: Occupational health and safety management systems

度数率・強度率

	2013	2014	2015	2016	2017
度数率	1.09/1.58	0.20/1.66	1.13/1.61	0.25/1.63	0.82/1.66
強度率	0.02/0.10	0.00/0.09	0.01/0.07	0.00/0.10	0.01/0.09

(THK/全国平均(%))

度数率:労働災害発生の頻度を表す

[度数率=(死傷件数)÷(延労働時間)×1,000,000]

強度率:労働災害発生の軽重程度を表す

[強度率=(延労働損失日数)÷(延労働時間)×1,000]

※2017年度は決算期の変更により、対象期間は2017年1月1日～12月31日、2016年度までは4月1日～3月31日となっています。

880万時間無災害

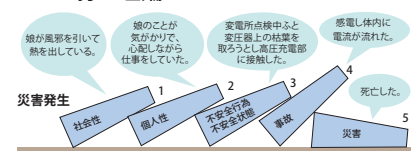
THKリズム本社・浜松工場は、2017年8月24日に無災害記録(労働時間×従業員数)が延べ880万時間に達し、浜松労働基準監督署長から第3種無災害記録証が授与されました。同工場は自動車部品・付属品製造業に分類され、従業員100人以上の企業で第3種無災害は2017年12月末時点で達成しているのは浜松地区で2社(250社中)となります。

労働災害休業ゼロに向けては、①安全パトロール、②災害未然防止活動、③安全重点ポイント管理板を利用した活動を展開しています。安全重点ポ

イント管理板では「ハインリッヒの5つの駒の理論」を掲示し、災害につながらないようにするための方策を全従業員に考えさせています。

880万時間無災害は、通過点にすぎません。従業員の安全を第一に考え、災害を起さない工場運営に今後も注力していきます。

5つの駒の理論

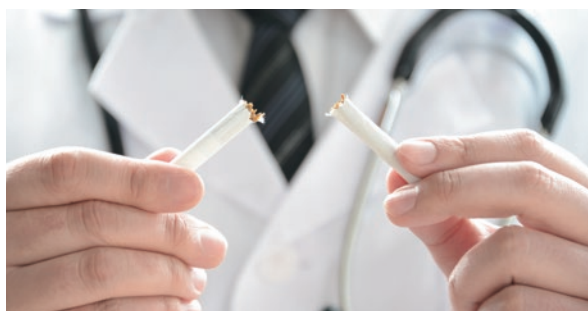


3の駒を倒さない様に各人への教育、また周りの人がお互いにチェックする体制を築いています。

禁煙プログラム

TRAチェコ工場は社員の健康を第一に考え、2020年1月1日からの工場内完全禁煙実施に向け2017年4月から喫煙者を対象に外部コンサルタントによる禁煙療法を開始しました。第一期の療法には40名の従業員が参加し、内12名が禁煙に成功しています。また第一期で禁煙に失敗した従業員には、引き続き第二期の療法が行われています。

2018年2月からはさらなる結果を目指し、他の外部禁煙コンサルタントの利用も視野に入れています。喫煙者がタバコを止められるように、禁煙療法を2018年、2019年も継続していきます。



コンサルタントによる検査

海外出張者向けアラートメール

海外出張者・出向者の増加に伴い、現地で起きている危険情報と対応アドバイスを日本語で個人々に配信するリスク管理サービス「アラートスター」を導入しました。配信情報は、発生国、都市、概要、アドバイス、危険度等を含んでいます。例えば危険度3は情報のみ、4は警告で準備を要する、5は緊急で即座に行動を取る必要があるに分かれています。

滞在地や次の渡航先のリスク状況の速やかな把握やアドバイスも確認できるので、旅程変更等のリスク回避を独自で行うことができるようになっています。

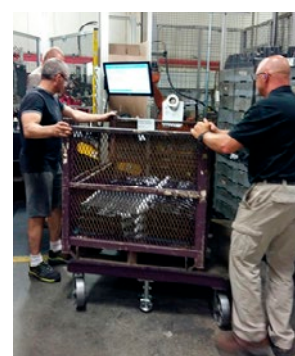
原文	翻訳文
危険度	4:Wm
タイトル	France - Severe Winter Weather (Upd. 1) - North
発生国	France
エリア	Paris
概要	UPDATE 1: Snow and ice likely to prompt further road, rail, and air transport disruptions in northern France through Feb. 8.
アドバイス	Advice

アラートスター情報の一例

“KAIZEN”活動

TRAカナダTillsonburg工場は社内災害防止に向け、“KAIZEN”活動に力を入れています。経営者、作業員、安全衛生委員会の約10名が2017年度内に指摘した139箇所の危険箇所の内、118箇所は1週間以内に防止策が取られています。

効果が高かった改善策は約817kgある部品搬送用鉄製ケージの車輪を交換し、作業員の肉体的負荷を40%程度軽減したことです。新車輪採用後は事故も起きておらず、工場内の他部門への展開を図っています。



新車輪を設置した部品搬送ケージ

労働災害撲滅に向けて

山口工場は過去に起きた労災事故を模擬的に体感させる装置、1.ベルト巻き込まれ、2.プレス指詰め、3.回転砥石裂傷、4.スリッパ転倒を製作し、安全意識を向上させる“安全道場”を開設しています。各種装置の稼動中に布や割り箸を挿入した際の破損状況を確認してもらい、何を感じ、どう安全を確保し、今後取るべき行動を参加者に理解させています。年度末までに、新入社員と勤続10年未満の計258名が受講しました。

また、玉掛け、ホイストクレーン、フォークリフトに関しては、資格保有の判断がすぐつくよう社員証にシールを貼っています。無資格者による操作を未然に防ぐために大変役立っています。

“自分で判断するな。周りの人に聞け”を合言葉に労災事故ゼロを目指します。



社員証に貼られた資格保有シール

成長支援 (ワークライフバランス)

人事データ集*1

	2013		2014		2015		2016		2017	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
育児休業対象者数(名)	—	—	—	—	—	—	—	—	209	39
同取得者数(名)	0	31	0	29	2	21	2	19	2	39
育児短時間取得者数(名)	2	39	0	48	0	62	0	71	3	66
平均勤続年数(年)	16.7		17.4		17.8		18.3		17.5	
	17.3	12.9	18.0	13.9	18.4	14.1	19.0	14.2	18.1	13.7
離職率(%)	1.6		2.0		1.7		1.5		1.6	
	1.4	2.4	1.5	4.8	1.6	2.7	1.3	2.4	1.3	3.0
障がい者雇用率(%)	2.24		2.23		2.21		2.17		2.20*2*3	

*1 2013～2016年：対象期間は4月1日～3月31日、2017年：1月1日～12月31日

*2 2013～2016年：各年度4月末時点、2017年：2018年1月末時点

*3 法定雇用率：2.00

くるみん認定取得

THKリズムは育児短時間勤務制度の期間を小学校就業前までとした事例等、子育て支援に積極的に取り組んだ企業として2017年4月に厚生労働大臣より「くるみん」の認定を受けました。今後も従業員の「仕事と子育ての両立」を支援する職場環境の整備を推し進めていきます。



THK社内認定制度

品質向上を目的に各工場検査部門の従業員に対し、国家技能検定の「機械検査」に準ずる教育を座学と実



山口工場ショールームに掲示されている技能者ボード

技教育で行っています。教育終了後に社内試験を実施し、合格者のみに検査業務を行わせています。

また、生産部門従業員の技能向上に向け国家技能検定「機械加工」、「機械検査」、「熱処理」2級以上の取得を推奨、合格者の受験料は全額補助する仕組みも設けています。2017年度は、18名が合格しています。

5豊日(ごほうび)

自分で自分を誉めたい、どこかで聞いたフレーズだと思いませんか？

THKリズムは労働基準法改正で従業員の「年5日有給休暇の取得義務化」を耳にし、法改正に先駆け有給休暇取得促進の取り組みを行いました。「5豊日」のネーミングは労使で話し合った際、いくつかの候補の中から選びました。5日間の休みが豊かな日となり、さらに自分へのご褒美になればとの願いを込めています。対象者は、役員、従業員、嘱託、パートで年次有給休暇付与月当初(10月)に残日数を10日以上有する方です。

2017年5月から4ヶ月のトライアル後、10月に全社展開しました。スタートして約半年ですが、2016年度同時期の年休取得率を上回っています。「年休を取得し易くなった」という声の一方、「忙しく、なかなか取得できない」という意見もありました。当活動の活用でワークライフバランスを充実させ、従業員の士気向上を図っていきます。

人権・ハラスメント

各極の全従業員に配布している「社員心得」には“雇用および処遇における差別を行わず、機会の均等を図る”と明記されています。中でも妊娠・出産に伴う育児休業や介護休業の制度利用者に対する中傷や申請者の就業環境を害する言動防止に向けて、ハラスメント相談窓口を本社人財課に設置しています。連絡手段は電話、メール、手紙等で受け付け、内容は秘密厳守、さらに事実関係の確認に協力した方にも不利益は及ばないように配慮されています。またハラスメント行為を広く理解してもらうために、全8ページからなる説明冊子も用意しています。



ハラスメント説明冊子



山口工場での職場実習

宮脇 俊輔 さん
みやわき しゅんすけ



職場実習で組立てた梱包箱を手に取る

2017年5月山口県立下関総合支援学校3年時に山口工場で職場実習をしました。

職場実習では梱包箱の組立て作業を行いました。総合支援学校でバッグやキーリング等の革小物を作るレザー

クラフトの授業を受ける一方、休日は趣味でパステルを使った風景画を描いているので、手先を使

う作業は得意で組立作業は自分に合っていると思いました。作業手順は社員の方がとても親切に教えて下さったので、きちんと覚えることができました。馴れてくると一人作業で、当初は1日約300個でしたが、徐々に箱数も増え、平均約500個、多い時は約800個組立てられました。

2018年4月THKに入社します。職場実習当初は環境の違いから不安を感じることもありましたが、確実に仕事がこなせたことで、大きな自信につながりました。仕事にとってもやりがいを感じていますので、入社後は会社に貢献できるよう頑張ります。

アビリンピック優勝 THK社員5度目の全国制覇

山口工場 製造推進部 受注管理課

桑原 健輔
くわばら けんすけ



練習の成果を発揮して優勝

2017年11月に栃木県で行われた第37回アビリンピック(全国障がい者技能競技大会)の「製品パッキング部門」で優勝し、日本一の栄光に輝きました。学生時代に山口県代表としてアビリンピックに1度挑戦しました

が、入賞すらできませんでした。当時アビリンピック出場に向け合同練習をTHKの方と一緒にやる機

会があり、社員の方の印象が良かったので入社を決めました。現在は製品の梱包作業と製造オーダー票の発行を行っています。

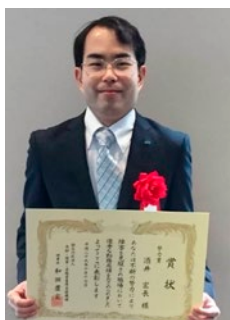
学生時代の悔しい思いをバネに、アビリンピック優勝を目標に練習に励みました。工場には優勝経験のある先輩方がおり、練習時の励みしや的確なアドバイスを受け、入社1年目で優勝が叶いました。

2018年4月に同じ部署に新入社員が配属になり、アビリンピックに挑戦します。私が優勝を果たせた様に、先輩社員として後輩が自信を持って好成績を残せるよう背中を押してサポートすることが今の目標です。

働きやすいAt homeな職場環境

人事総務統括部 人財課

酒井 宏長
さかい ひろなが



授与式会場にて

THKを知ったのは、ハローワークの紹介でした。会社訪問時に対応が他社よりも大変丁寧で、面接では申し出ていないのに筆談用メモを用意している等、聴覚障害があっても働きやすい職場なのでと感じました。入社以来10年間人財課で人事発令関係、データ作成・集計、契約書管理、調査依頼対応等

の業務を行ってきました。業務上の情報はメール、朝礼内容は社内掲示板で確認できる等「音声でなく文字で伝える」多くの工夫があり、大変助かっています。「相手に自分の伝えたことが誤解なく伝わっているか」を意識しながら丁寧に仕事を進めることを心掛けています。

2017年10月に(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構の理事長努力賞表彰を受けました。長年働けたのは私だけの力ではなく、聴覚障害があっても普通に接して下さる皆様の支援の賜物です。

地域社会

寄付・募金・インターンシップ

THKは社会貢献活動の一環として、自然災害発生時の支援金の提供を行っています。また、将来の日本のものづくりの発展に向けて、インターンシップを国内9生産拠点で34名受け入れました。

日付	寄付目的	寄付送金先
H29.1	公益財団法人日本科学技術振興財団賛助金	公益財団法人日本科学技術振興財団
H29.7	日本赤十字活動資金	日本赤十字
H29.7	九州豪雨被害義援金	日本赤十字社福岡県支部、大分県支部
	ミシガン州労働者の質向上賛助金(TRA Michigan)	Skilled Trades Training fund
H29.8	末期患者病院への賛助金(TRAカナダ Tillsonburg)	Patients afflicted with bone marrow failure disease

かがく博覧会の体験イベントに参加

山口工場は2017年9月に小・中学生に科学イベントを通じ楽しさを体験してもらう「第8回 かがく博覧会」に参加しました。毎回、市内の高校と地元企業が出展する体験ブースは多くの親子連れで賑わいをみせており、4回目の出展となるTHKブースは趣向を凝らした①LMガイドの組立て体験、②3Dプリンターを使ったネームプレート作り、③日本地図を型取った3Dパズルゲームを用意しました。真剣なまなざしで組立てをする子供達の表情や3Dプリンターで作ったネームプレートを手に取り喜ぶ親子連れの姿であふれていました。



3Dプリンターで作ったネームプレート

THK共育プロジェクト

THKは創造開発型企业としてのものづくりを通じ、数々の事業環境の変化を経験する中で、グループ従業員が1万人を超える企業へと成長することができました。

2021年の創立50周年を迎える節目に、2つの背景から「ものづくりを通じた次世代教育」を行うことを決めました。

1つ目は、次世代を担う日本のものづくり人材の減少です。少子高齢化が進む中で、工学部出身の人材、特に機械設計をする人材の絶対数が減少傾向にあり、日本のものづくりが衰退しかねない危機感を感じています。

2つ目は、2020年に教育界で予定されている学習指導要領改定に伴う「主体的・対話的で深い学び」への支援です。学校教育でも答えのない課題を解決できるような人を育てるための学びが模索されています。

当社のものづくり企業としての経験を活かした「主体的な学び」への支援と、日本のものづくりへの貢献を目的として、株式会社リバネス様*と共同で「THK共育プロジェクト」を2017年から始動させました。

THK共育プロジェクトの2つの目的と施策

1. ものづくりの楽しさを伝える

THK社員が「教材プログラム」を開発し、学校での授業の一環で「ものづくり」の楽しさを知ってもらう機会を提供いたします。2021年には全国の中学校へ発信出来る体制を整える予定です。

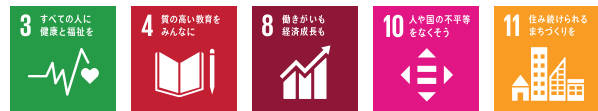
2. ものづくり好き中高生を集める

全国の中学・高校・高専生から、課題解決をテーマとした研究計画を募集し、優秀な申請書に「研究費」の助成と「ものづくり」の支援まで行います。社員が生徒にメンタリングし、アイデアを形にする喜びを伝えます。2021年には全国より集まった50テーマを発表する場を提供する予定です。

*株式会社リバネス(<https://lne.st/>)は、「科学技術の発展と地球貢献を実現する」ことを理念としており、理系人材の育成と次世代教育に取り組んでいる会社です。



採択した研究計画の成果発表会



ボランティア活動

THKアメリカ本社のMrs. Michelle ScovilleはPADS (Public Action to Deliver Shelter) で過去7年にわたり、4-10月までの金曜日(月1回)午前3時から7時15分までホームレスの方のお世話をしています。仕事内容は毎週木曜日の夕刻に、Willow Creek Community Churchに集まった方々のベッド、夕食/朝食、シャワー等の身の回りのお手伝いです。また彼らの話を積極的に聞くことで、ストレス緩和を図っています。

今後も時間の許す限り、ホームレスの方の支援を行っていきます。



左：お世話をしているChurch、右：Mrs. Michelle Scoville

サッカーコーチ

TRAカナダTillsonburg工場のJeff氏は息子さんの地元サッカーチーム入団を機会に公式コーチライセンスを取得し、現在では娘さんのチームのコーチおよび息子さんのチームの副コーチに従事しています。コーチ業を続ける中で子供達がお互いに尊敬しあう姿を間近に見られ、確実に青年へ成長していくことが実感でき大変嬉しく思っています。スポーツを通じ、相手チームや純粋にゲームを尊重する前向きな人間に育てて欲しいと思っています。

息子が所属するチームは、幸いにも2016~2017年の2シーズンにわたり所属リーグで優勝しました。今後もコーチを続け、子供達の成長を見守っていきたいと思っています。



優勝を喜ぶ子供達(Jeff氏は写真2列目右端)

寄付活動

大連THKは2017年11月に、大連婦人連合会の呼びかけ『体を暖め、心を暖めよう』という古着寄付活動に協力しました。社員には破れておらず、キレイな秋・冬服の古着寄付をお願いした結果、上着160枚、ズボン72本、子供服30着が集まりました。消毒作業の必要もなく、直接大連婦人会の方にお渡ししました。最終的に大連の北約470km離れた、遼寧省朝陽市の朝陽市凌源県四官営子町貧困扶助センターに寄贈されました。

「小さな思いやりを積み重ねると大きな愛になる」を合言葉に、古着の寄付は現在でも継続して行っています。



集まった古着と社員の気持ちを表した額

全国青年大会

THKインテックス仙台工場製造部萩原聖之さんは、地域に密着した活動をとの思いから青年団活動を続けています。過去には女子バレーボール9人制監督として全国青年大会にも出場しました。2017年6月は合唱部のメンバーとして参加した宮城県青年文化祭で最優秀賞になり、県代表として全国大会で優秀賞に選ばれました。

合唱部は年に1度チャリティーコンサートを開催しており、2017年3月には宮城県黒川郡大和町で約300名の方にお集まりいただき10回目の会を開きました。毎回コンサートで集まる収益金は教育委員会にお渡しし、図書の購入代金に充ててもらっています。

今後も地域連携を密にし、地域から必要とされる青年団活動を行いたいと思っています。



コンサートの1コマ(後列中央が萩原さん)